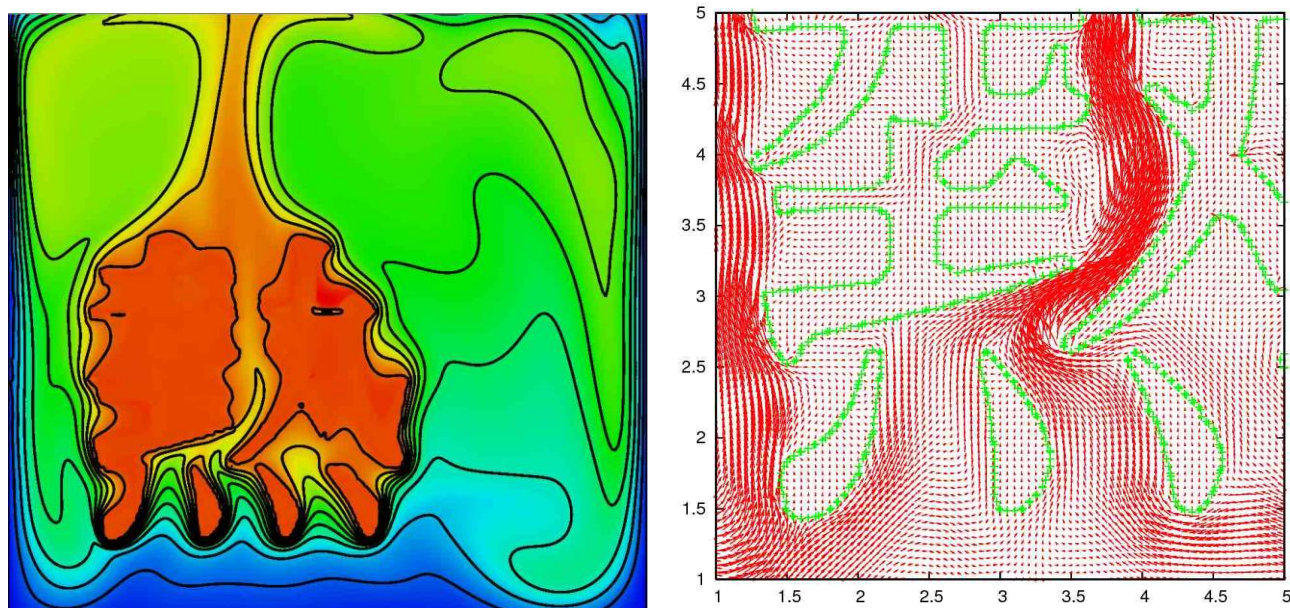


キーワード

計算流体力学 (CFD), デカルト格子法, 弱圧縮性ナビエ・ストークス方程式, 非圧縮性ナビエ・ストークス方程式, GPU

研究概要

CFDによる流体解析を行う場合, 前処理としての格子生成にかかる手間と時間が無視できません. デカルト格子を用いて滑らかな物体まわりの流れを解析できる方法として, 仮想流束法を提案しています.



「熱」の形の高温表面付近の自然体流(左:温度場, 右:速度場)

応用例・用途

仮想流束法は, 柔軟に様々な境界条件を反映させることができるため, 様々な流動現象に対応することが可能です.

